

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載
【部門区分】第 1 部門第 2 区分
【発行日】平成 17 年 12 月 22 日 (2005.12.22)

【公表番号】特表 2005-507300 (P2005-507300A)
【公表日】平成 17 年 3 月 17 日 (2005.3.17)
【年通号数】公開・登録公報 2005-011
【出願番号】特願 2003-541472 (P2003-541472)
【国際特許分類第 7 版】
A 6 1 B 17/12
【F I】
A 6 1 B 17/12

【手続補正書】
【提出日】平成 16 年 10 月 14 日 (2004.10.14)
【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲
【補正対象項目名】全文
【補正方法】変更
【補正の内容】
【特許請求の範囲】
【請求項 1】

マイクロコイル脈管閉塞装置であって、複数の湾曲セグメントを備えかつ各湾曲セグメントが別々の軸線を規定する最低エネルギー状態二次形状にされるマイクロコイルからなり、当該装置は、その最低エネルギー状態形状において複数の軸線を規定する装置。

【請求項 2】

前記各湾曲セグメントは、ある面と、該面に実質上垂直な軸線とを規定する請求項 1 の装置。

【請求項 3】

前記複数の軸線は、実質上平行である請求項 1 の装置。

【請求項 4】

前記複数の軸線の各隣り合う組は鋭角をなす請求項 1 の装置。

【請求項 5】

前記湾曲セグメントは、実質上閉じたループであり、実質的に接線で相互接続する請求項 1 の装置。

【請求項 6】

前記湾曲セグメントは、波状の閉じていないループである請求項 1 の装置。

【請求項 7】

前記複数の軸線は、これらが交差する場合、隣り合う軸線間で約 45 度以下の角度をなす請求項 1 の装置。

【請求項 8】

前記湾曲セグメントは、実質的に接線で相互接続する実質上閉じたループを規定する請求項 7 の装置。

【請求項 9】

脈管閉塞装置であって、最低エネルギー状態二次形状にされるマイクロコイルからなり、最低エネルギー状態二次形状は、接線で相互接続する実質上円形の複数のループからなり、各ループは、ある面と該面に実質上垂直な別々の軸線とを規定する装置。

【請求項 10】

前記ループの軸線は、実質上平行である請求項 9 の装置。

【請求項 11】

前記ループの各隣り合う組の軸線は鋭角をなす請求項 9 の装置

【請求項 1 2】

前記マイクロコイルは、バイメタルワイヤーから形成される請求項 9 の装置。

【請求項 1 3】

前記バイメタルワイヤーは、放射線不透過性金属と超弾性金属とを含む請求項 1 2 の装置。

【請求項 1 4】

脈管閉塞装置であって、細長い単繊維状の構成要素を備え、該構成要素の全長の少なくとも一部は、該単繊維状の構成要素が弛緩状態にある際、波状の形状を有する装置。

【請求項 1 5】

前記単繊維状の構成要素はマイクロコイルを含む請求項 1 4 の装置。

【請求項 1 6】

前記単繊維状の構成要素の実質上全長は、該要素が弛緩状態にある際、波状の形状を有する請求項 1 4 の装置。

【請求項 1 7】

前記単繊維状の構成要素は、該要素が弛緩状態にある際、波状の形状を有する先端部を含む請求項 1 4 の装置。

【請求項 1 8】

前記単繊維状の構成要素は、送出装置から電解により取り外しできる基端部を有する請求項 1 4 の装置。